

に向かう。

この沢は、難重下降した滝以外はほとんどが斜瀑で、しかもホールド、スタンスが豊富なので、すべて楽々クライミングダウンできた。遊行するにしても、楽しい沢だろうと思う。 (記)

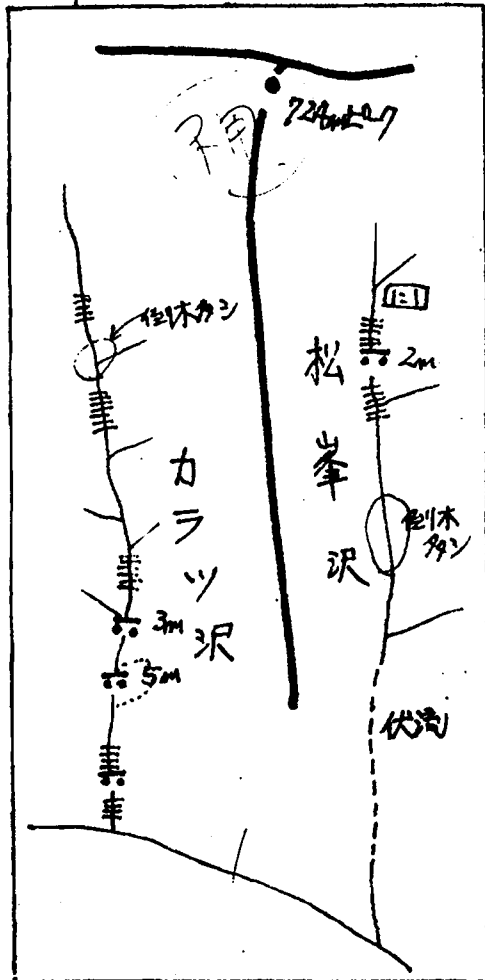
[タイム] 下降開始(9:50)→下降終了(11:40)

カラツ沢

1984年7月15日

L..... 登.....

白根沢にかかる橋を渡った所に車を置き、ワラジを着け白根沢を遡る。白根沢の沢幅は広く、ナメも美しい。が、クモの巣には閉口する。背の一番高い大西さんを



先頭にさせて、クモの巣払いをしてもらう。

歩き初めてから約1時間、目的のカラツ沢の出合に着く。一休みしてから遊行開始。

白根沢の続きで、ナメは続くが、沢幅は狭い。10分程進むと8mの滝が行手を阻む。直瀑で、どうも直登できそうもないので、右側を捲く。が、落口の両端が切り立っているため、アップザイレンで降りる。

この先1mの小滝がある。ここを越える時にハプニング。大西さんが登った直後、「ガラガラ」と石が落ちてきた。次の僕にあやうく当りそうだった。カモンカが落としたみたいだ。

この後は平凡な沢歩きで、所々に倒木があり、苦勞する。

しばらくすると水もなくなる。尾根を越えて松林沢に入ることを考え、11:10遊行を打ち切って枯れたスラブ状の枝沢に取り付く。 (記)

[タイム] 出合(10:20)→遊行終了(11:10)